

「千葉県文化芸術推進基本計画」  
令和5年度実施結果・令和6年度実施計画（県実施分）

資料2-2

目次

施策の柱・展開	頁
施策の柱1 あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり	
【柱1】①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり	1
【柱1】②文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成・支援・活用	3
【柱1】③文化施設等（文化会館、美術館・博物館等）の機能の充実	4
施策の柱2 ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり	
【柱2】④ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供	5
【柱2】⑤伝統文化の保存・継承	5
【柱2】⑥文化財・文化的景観等の保存と活用	6
施策の柱3 新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり	
【柱3】⑦様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築	7
【柱3】⑧観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化	7
【柱3】⑨文化施設等（文化会館、美術館・博物館等）の多面的な活用	8
施策の柱4 次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり	
【柱4】⑩豊かな感性を育む文化芸術、郷土の歴史・伝統に出会う機会の充実	9
【柱4】⑪若者の文化芸術活動の支援	10
【柱4】⑫伝統文化を担う子ども・若者の育成	10
施策の柱5 ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信	
【柱5】⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成	11
【柱5】⑭最新のテクノロジーや国内外との交流を取り入れた新たな「ちば文化」の創造	12

「千葉県文化芸術推進基本計画」令和5年度実施結果・令和6年度実施計画（県実施分）

【1】

施策の柱1 あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、障害の有無や年齢等に問わず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	千葉・県民文化祭		県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を開催。 事業数：全28件、期間：令和5年6月24日～令和6年1月13日、場所：県立美術館・青葉の森公園芸術文化ホールなど（全県）、関係者：文化芸術団体（全26団体）、来場者（合計）：52,591 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 一般公募により舞台出演者を選定し、新たな文化芸術の発表の場を設けた。さらに、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたコンサートを開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、Youtube等で配信した。 日程：8月12日、8月26日、10月1日、場所：青葉の森公園芸術文化ホール、関係者：（（公財））千葉県文化振興財団・出演者・出品者等（163名）、来場者：一般県民等（1,012名・入場無料）	県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供し、あらゆる人々が文化芸術に親しむことのできる環境づくりに寄与した。 また、他分野や新たな団体との共同企画による事業の実施により、文化芸術活動を行う人々のネットワークの構築を促進することができた。	6,500	①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 事業数：27件、期間：7月～2月、会場：県立美術館など全県で実施 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 日程：9月29日（日）、会場：青葉の森公園芸術文化ホール、出演者：一般公募により選定した出演者等 また、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたミニライブ等を開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、YoutubeやSNS等で配信する。	10,620		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	県立文化会館自主事業、管理運営事業		県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数（4館合計）：268,835名 ・利用事業数（4館合計）：2,748件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	568,075	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施	556,300		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
3	県立美術館・博物館事業		5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：695,177人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,377,498	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。	2,234,333		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
4	県民芸術劇場		県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、千葉交響楽団の公演を県内各地で行う。	・時期：通年 ・公演数：38公演 （管弦楽6公演、室内管弦楽5公演、室内楽16公演、芸術鑑賞教室11公演） ・会場：県内文化ホール等31	県民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、本県の芸術文化の振興を推進した。	19,754	・時期：通年 ・公演数：32公演（予定） （管弦楽4公演、室内管弦楽7公演、室内楽16公演、芸術鑑賞教室5公演） ・会場：県内各地	20,148		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
5	ちば文化交流ボックス		県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数：2,139,066人	県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	文化イベントや文化資源などに関する情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧数増加を目指す。	-		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
6	障害者芸術文化活動支援事業		障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動（美術及び舞台芸術）を支援する「障害者芸術文化活動支援センター（支援センター）」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間：4月1日～3月31日 ・実施事業：県民相談（34件）、障害当事者や支援者向けの人材育成研修（参加者数：146人、配信動画再生数：570回） ・展覧会等：1月10日～1月21日（展示作品数：210点） 期間中会場を訪れた人数：4,177人	障害のある人々の作品発表の機会の確保や県全域でのワークショップの実施により、文化振興に寄与した。	7,503	【支援センター】 ・事業期間：4月1日～3月31日 ・実施予定事業：県民相談、障害当事者や支援者向けの人材育成、県立美術館での展覧会の実施	7,553	公共施設やショッピングセンター、県内コンビニエンスストアイートインスペースでの巡回展の実施	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
7	特別支援学校巡回コンサート		プロのオーケストラによる質の高い優れた演奏を、コンサート会場に出向くことが困難な特別支援学校の児童・生徒に広く提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期：通年 ・巡回先：県内特別支援学校18校	特別支援学校18校での公演を開催し、コンサート会場に行くのが困難な児童・生徒に優れた音楽鑑賞の機会を提供した。	13,590	・時期：通年 ・公演数：19公演（予定） ・巡回先：県内特別支援学校（令和5年度の実施校と異なる学校）	14,345	実施校が1校増（18→19）。	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
8	ちばアクアラインマラソン開催事業		スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。	「ちばアクアラインマラソン2024」の開催に向けて、「基本計画」、「大会要項」及び「募集要項」を決定し、大会開催への準備を整えた。	完走メダルのデザイン募集を行うことで、文化芸術に触れる機会を図ることができた。	47,552	【ちばアクアラインマラソン2024】 日程：11月10日（日） 場所：木更津市・袖ヶ浦市 主催：実行委員会形式（千葉県、千葉県教育委員会）	129,900		環境生活部	スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課
9	愛鳥週間事業（千葉県愛鳥週間ポスターコンクール）		鳥獣保護思想の奨励・普及啓発を図るため、ポスターコンクールを実施する。	【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会（7月）、表彰式（8月）、入賞作品の展示（8月～）	ポスターコンクールを通じて、鳥獣保護思想の普及啓発を図り、また環境保全への関心を広く理解してもらうため、入賞作品を展示した。	839	【千葉県愛鳥週間ポスターコンクール】 1. 作品募集 対象：県内の小・中・高等学校等 2. 審査・展示等 審査会（7月）で入選作品58点を選定。県内各地で入選作品を展示する予定。	1,212		環境生活部	自然保護課
10	千葉県環境月間ポスター作品募集		環境保全に関するポスター作品を募集し、入賞作品を表彰し公表するとともに、啓発資料等に活用する。	応募数1,087作品のうち、最優秀賞4、優秀賞8、奨励賞71の作品を表彰した。 このうち優秀賞以上の12作品について表彰式を開催し、奨励賞以上の83作品について県立博物館にて入賞作品の展示を行った。	環境保全に対する県民意識の高揚と知識の普及を図られた。	833	1. 次年度作品募集 ・募集期間：令和6年6月1日～9月30日 2. 審査会 ・日程：令和6年12月（予定） ・審査員：学識経験者等 3. 展示 ・県庁での展示：令和7年6月の1週間程度（予定） 4. 表彰式 令和7年1月19日 千葉県立美術館	769	うち、769千円 3R等推進事業からの支出（設計書ベースのポスター印刷分）：600,000円 環境学習・環境保全活動促進事業からの支出（募集・表彰分）：169,000円	環境生活部	循環型社会推進課
11	さわやかちば県民プラザ事業		音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて5事業を実施した。 ①音楽ワークショップ・概要：「柏の葉吹奏楽団」を結成し、吹奏楽の体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。参加者：4,700人 ②東葛飾文化祭・概要：東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場として実施した。参加者：7,712人 ③ザ・ワールドオブプラス・概要：東関東地区（千葉県、茨城県、神奈川県、栃木県）の中学校、高校の吹奏楽部全23校がフロアマーケティングの発表を実施した。参加者：6,000人 ④高校生バンドフェスティバル・概要：県内の高校生バンド16組が演奏を披露するコンサートを実施した。参加者496人 ⑤書のパフォーマンス発表会・概要：県内の高校11校の書道部が書道の実演発表を実施した。参加者：243人	参加者自らが割り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多くの人々に触れる場となるよう広報も工夫した。	290	音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	326	書のパフォーマンス大会については、R6は開催しない。	教育庁	生涯学習課

## ①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
12	県立図書館事業		①県民への情報提供・図書の貸出②書籍の収集整備③読み聞かせボランティアの育成・特別支援学校訪問読書支援④図書館ネットワークの構築・運用⑤読書バリアフリーの普及を行う。	①県民への情報提供・図書の貸出 図書館情報システムを運用し、個人や図書館等への貸出、蔵書管理、所蔵資料情報の公開等を行った。 (令和5年3月のシステム更新) ・ホームページのアปเดตセ数: 481,645件 ・Web予約件数: 62,979件 ・個人貸出冊数: 105,400冊 ・図書館等への協力貸出: 82,881冊 ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に11,550冊を購入整備した。 ③-1 読み聞かせボランティア入門講座 ・期間: 5月28日, 9月30日 ・回数: 2回 ・場所: 酒々井町, いすみ市 ・参加者(合計): 一般県民等(60名) ③-2 特別支援学校訪問読書支援 ・期間: 通年 ・回数: 28校 ・場所: 各特別支援学校 ・参加者(合計): 特別支援学校教職員・児童・生徒等(1473名) ④図書館ネットワークの構築・運用 県内図書館や県立学校等へ図書館ネットワークを通じて193,999冊の貸出しを行った。 ⑤読書バリアフリーの普及 読書バリアフリー講座、読書バリアフリー出前講座、サビエ図書館活用講座 ・期間: 通年 ・回数: 4回 ・場所: 中央図書館、東部図書館、船橋市 ・参加者(合計): 109名	県民の読書や調査研究活動の支援、読み聞かせボランティアの育成、市町村立図書館等への協力援助等を行うことにより、読書環境の向上や文化振興に寄与した。	164,388	①県民への情報提供・図書の貸出 図書館情報システムを運用し、県民への情報提供や図書の貸出しを行う。(予算95,040千円) ②書籍の収集整備 市町村立図書館等では購入しづらい専門書や参考書を中心に書籍を購入整備する。(予算94,726千円) ③読み聞かせボランティア指導者養成講座/特別支援学校訪問読書支援(予算355千円) ④図書館ネットワークの構築・運用(予算21,679千円) ⑤読書バリアフリーの普及 読書バリアフリー講座、読書バリアフリー出前講座、サビエ図書館活用講座(予算155千円【中央分館40千円、東部分館22千円、西部50千円、東部40千円】)	211,955	③読み聞かせボランティア講座の内容がステップアップから指導者養成になった。 ⑤読書バリアフリーの普及の項目を追加した。	教育庁	生涯学習課
13	「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業		千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。	ダンスキャラバン隊の活用について、年度当初に学校向けにリーフレットを配付し、39校(保育園・幼稚園・特別支援学校含む)にてダンスレクチャーを行った。また、県主催のイベントをはじめ、ショッピングモール等でもダンスステージを展開するなど、「ゆめみるチーバくん」ダンスを普及活動を行った。	令和4年度に比べ、新型コロナウイルスが5類へと引き下げられたこともあり、イベントや学校に訪問する機会が増えた。チーバくんのダンスを通して、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を提供することができた。	22,100	千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術(舞踏)に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の小・中学校等を訪問して普及する。	24,791	特になし	総合企画部	報道広報課
14	全日本中学生水の作文コンクール		「水の日」の趣旨にふさわしい事業の一環として次代を担う中学生を対象に「水について考える」をメインテーマに作文コンクールを行う。	県内各地から118編の応募があり、最優秀賞1編、優秀賞2編、奨励賞2編、学校賞1校を選定した。 (主催者: 水循環政策本部・国土交通省・千葉県) 1. 作品募集 募集テーマ: 「水について考える」、募集対象者: 県内に在学・在学の中学生、募集期間: 3月1日～5月8日、応募数: 118編 2. 表彰 千葉県自治会館にて表彰式を実施。 3. 作品の展示・公表 「水の週間」である8/1～8/7に県庁1階連絡通路及び19階掲示板に受賞作品を展示。また、コンクールの様子や受賞作品を県HPに公表。	本コンクールを実施することで、中学生の子ども達が文化芸術活動に参加できる機会を提供した。 また、受賞作品を展示及びHP上に公表するなど、芸術作品を鑑賞する機会を提供することで、あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくりに寄与した。	55	「全日本中学生水の作文コンクール」の実施 ・募集期間: 令和6年3月8日～令和6年5月9日 ・募集対象者: 県内に在学・在学の中学生	150	特になし	総合企画部	水政課
15	千葉県男女共同参画フェスティバル		本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、「千葉県男女共同参画フェスティバル」では、県の男女共同参画の推進拠点として、講演や県内で男女共同参画の推進に向けて活躍する民間団体による体験講座を実施し、県民が楽しみながら男女共同参画への理解を深められるよう、民間団体と交流を行う。	「千葉県男女共同参画フェスティバル」の開催 1月28日(日)イオンモール幕張新都心グランモール3階 イオンホール 10時から16時 ワークショップ 10:00-12:00 聖徳大学心理学学生他4団体 講演「親子3代みんなで子育て～これが木久蔵流～」 14:30～16:00 林家木久蔵(落語家)	大型商業施設において、ワークショップと講演会を実施。講演会では、落語家を講師に迎え、自らの子育てや親子関係について楽しく講演いただき幅広い年齢層の方に、男性の子育てについて、理解してもらうことができた。 民間団体から募集した5団体によるワークショップを実施した。来場者は家族連れも多く、参加後にアンケートに答えていただくことで、男女共同参画について考えるきっかけづくりになった。	1,288	事業終了 (本事業終了に伴い、令和6年度から新規事業として「男女共同参画県民フェスタ」という新規事業を実施しますが、新規事業は県民を対象とした男女共同参画の啓発に特化した事業内容であることから、本照会における新規事業としては回答しないものとします。)		総合企画部	多様性社会推進課	
16	千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール		県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒を対象に、歯・口の健康に関するポスターを募集し、表彰することによって、口腔保健に関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与する。	1 作品募集 (1) 対象・応募数 小学校低学年10,391点、小学校高学年7,342点、中学校414点、特別支援学校・学級205点 (2) 募集期間 4月17日から6月16日まで (3) 目的・テーマ 口腔保健に関する正しい知識の普及啓発 2 審査会・表彰(7月6日) (1) 小学校低学年、小学校高学年、中学校の部 各部門県知事賞1名、県教育長賞1名、県歯科医師会長賞1名 (2) 特別支援学校・学級の部 県教育長賞3名、県歯科医師会長賞3名	多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品15点については知事賞や教育長賞等を授与し、口腔保健に関する正しい地域の普及啓発や県民の健康の保持増進に寄与することができた。	0	1 作品募集 (1) 対象 県内公立小中学校及び特別支援学校・学級の児童・生徒 (2) 募集期間 4月15日から6月14日まで (3) 目的・テーマ 口腔保健に関する正しい知識の普及啓発 2 審査会・表彰(7月4日・11月14日) (1) 小学校低学年、小学校高学年、中学校の部 各部門県知事賞1名、県教育長賞1名、県歯科医師会長賞1名 (2) 特別支援学校・学級の部 県教育長賞3名、県歯科医師会長賞3名	294		健康福祉部	健康づくり支援課
17	心の輪を広げる障害者理解促進事業		障害のある人に対する理解の促進を図るため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募する。	1 作品募集 (1) 対象・応募数 【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分、計19作品) 【ポスター】小学生・中学生(2区分、計15作品) (2) 募集期間 7月3日から9月5日まで (3) 目的・テーマ 「障害者週間」の実施に伴い、障害者に対する国民の理解の促進を図ること 2 表彰 ・ 知事最優秀賞(3区分、3名)、知事優秀賞(4区分、4名)、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞(4区分、4名)の計11名を表彰 ・ 11月21日に青葉の森公園芸術文化ホールで開催された、第55回千葉県身体障害者福祉大会において表彰を行った。 ・ 最優秀賞作品は内閣府へ推薦した。	募集テーマに則った作文やポスター作品を応募いただき、優秀作品を表彰するなどにより、障害のある人に対する理解を促進することができた。	—	1 作品募集 (1) 対象 【作文】小学生・中学生・高校生・一般(4区分) 【ポスター】小学生・中学生(2区分) (2) 募集期間 7月1日から9月5日まで(予定) (3) 目的・テーマ 「障害者週間」の実施に伴い、障害者に対する理解の促進を図ること 2 表彰 ・ 各区分ごとに、最優秀賞1名、優秀賞1名、社会福祉法人千葉県身体障害者福祉協会理事長賞1名以内をそれぞれ表彰 ・ 表彰式: 11月予定 ・ 最優秀賞作品は内閣府へ推薦	—	なし	健康福祉部	障害者福祉推進課
18	若年層対策献血啓発事業		中高生から献血啓発ポスターの募集を行う。	1 作品募集 (1) 対象・応募数 県内中学校・高等学校に在学中の生徒(中学生261点、高校生97点) (2) 募集期間 7月1日～9月4日 (3) 目的・テーマ 若年層の献血の意識付け・献血啓発ポスター 2 表彰 ・ 10月23日(月)、献血推進啓発作品表彰式・日赤献血功労者等感謝状贈呈式で表彰 ・ 知事賞・部長賞についてはポスター・リーフレット等で使用	多くの生徒に作品を応募いただくとともに、優秀作品を表彰するなどにより、献血の意識付け、啓発を行うことができた。	191	1 作品募集 (1) 対象 県内中学校・高等学校に在学中の生徒 (2) 募集期間 7月1日から9月3日まで (3) 目的・テーマ 若年層の献血の意識付け・献血啓発ポスター 2 表彰 ・ 10月頃、献血感謝のついで(仮名称)において表彰予定 ・ 知事賞・部長賞についてはポスター・リーフレット等で使用	330	令和5年度(前年度)は、献血運動推進全国大会を千葉県で開催したことから、例年の表彰の場である献血感謝のついでを開催せず表彰式は別途実施した。令和6年度は、例年どおり、献血感謝のついで(仮名称)において表彰予定。	健康福祉部	業務課
19	千葉県福祉ふれあいプラザ管理運営事業		「ふれあいホール」の運営を通して、高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の機会を提供する。	「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供 ・ 令和5年度年間利用者数: 77,193人	高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の場を提供した	93,500	「ふれあいホール」の運営 高齢者をはじめとする県民にスポーツ・文化等に関する活動の提供	93,500		健康福祉部	高齢者福祉課

## ①あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
20	手をつなぐ作品展事業		心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図るため、県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に障害に関する作文を募集し、優秀作品を表彰する。また、併せて優秀作品をまとめた作品集を作成し、関係機関に配布する。	1 作品募集 (1) 対象・応募数 県内に居住する小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童及び生徒 (出品校15校、応募作品総数68点) (2) 募集期間 8月1日から10月16日まで (3) 目的・テーマ 【目的】心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図ること 【テーマ】心身障害児・者に対する理解を深める内容のもの 2 審査会(入賞者決定、12月5日)・表彰(2月25日) ・入賞作品集を作成し、県内小・中・高・特別支援学校、関係機関に配布した。 ・千葉県肢体不自由児協会のホームページや機関誌にて、入賞者及び作品を公開した。	多くの児童及び生徒に応募いただくとともに、優秀作品11点については、知事賞や教育長賞等を授与し、表彰式が報道される等、県民の障害者への理解を広めることができた。	230	1 作品募集 (1) 対象 県内に居住する小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童及び生徒 (2) 募集期間 (8月1日から10月19日まで (3) 目的・テーマ 【目的】心身障害児・者に対する正しい知識と理解を促進するとともに、心身障害児・者の福祉の向上を図ること 【テーマ】心身障害児・者に対する理解を深める内容のもの 2 審査会・表彰 ・審査会(入賞者決定):11月上旬 ・表彰式:2月23日(予定)	246	特になし	健康福祉部	障害者福祉推進課
21	千葉県建築文化賞		安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門:一般建築物の部、住宅の部、募集期間:7月1日~9月30日 作品応募数:68作品 2. 審査結果 最優秀賞1点、優秀賞4点、入賞4点、計9点を表彰した。 3. 講演会 令和5年度で千葉県建築文化賞は第30回を迎えたため、第30回記念講演会を実施した。	県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、記念講演会をすることで、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。	1,538	賞を年1回実施 (募集期間:7月1日~9月30日(予定)、表彰式:3月中旬)	1,451	令和5年度は千葉県建築文化賞の第30回を迎えるため、第30回記念講演会を実施したが、令和6年度は記念講演会を実施しない。	県土整備部	建築指導課
22	県警音楽隊派遣		要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	派遣日数122日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計228回の演奏を行った。(令和5年1月~令和5年12月)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	0	派遣予定日数:103日(令和6年1月~令和6年12月)	0		警察本部	
23	県警音楽隊金曜コンサート		4月から10月(7~8月を除く。)までの間の金曜日に、実施。	県立羽衣公園(4月21日、10月27日)、京成千葉駅西口前広場(6月16日)に於いて実施。JR新浦安駅前広場(5月19日)、きぼーる1階アトリウム(9月8日)は、荒天により中止。(予定5件のうち、実施3回、中止2回)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	0	令和6年4月から10月まで(7月及び8月を除く。)の間の金曜日に5回のコンサートを予定。 日程:4月19日、10月18日、会場:県立羽衣公園 5月19日、会場:JR新浦安駅前広場 6月21日、会場:そごう千葉店1階正面入口前広場 9月13日、会場:きぼーる1階アトリウム	0		警察本部	
24	県警音楽隊定期演奏会		演奏を通じて県民とのふれあいを深め、警察活動に対する県民の理解と協力を得るために、演奏会を行う。	11月25日(土)青葉の森公園芸術文化ホールで午前の部、午後の部、2回の演奏を実施した。	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	805	11月30日(土)青葉の森公園芸術文化ホールで午前の部、午後の部2回の演奏を予定。	107		警察本部	
25	千葉県議会議場演奏		県民文化の向上発展のため昭和62年度以来、改選後の6月定例会招集日の冒頭に、議場で公益財団法人千葉交響楽団による演奏会を実施している。	県民文化の向上発展に資するため、議場内において演奏を行った。 期間:6月定例会の招集日の開会前(6月16日) 会場:千葉県議会棟 運携団体:公益財団法人千葉交響楽団	文化芸術に触れる機会を創出することを意識し、今回は千葉県誕生150周年記念のテーマ「海」にふさわしい選曲を取り入れた。	220	実施なし ※当行事は4年に1回程度の頻度で実施を検討している。			議会議務局	

## ②文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成・支援・活用

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	11月25日(土)青葉の森公園芸術文化ホールで午前の部、午後の部、2回の演奏を実施した。	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	805	11月30日(土)青葉の森公園芸術文化ホールで午前の部、午後の部2回の演奏を予定。	107		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	公立文化施設担当者研修会		県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、文化施設の管理運営業務に関する情報提供を図る目的で、研修会を開催する。	県内の文化施設の設置及び運営者に対し、研修会を開催した。 日時:令和6年1月23日(火) 会場:千葉県文書館 6階 多目的ホール テーマ:「自主文化事業について」 講師:矢作 勝義 氏 参加者:40名	本事業の実施により、文化施設の管理運営に携わる職員等の育成・能力の向上を図ることができた。	1	県内の文化施設の設置者及び運営者に対し、研修会を開催予定。 日時:令和7年1月頃実施予定 会場:千葉市内 テーマ:検討中 講師:検討中 対象者:県内の文化施設の設置者及び運営者	105		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
3	表彰の実施		千葉県において文化の振興に関し特に功績の顕著であった個人又は団体の候補者を表彰する。	令和5年度推薦実績(文化振興課のみ) ・教育功労者表彰(教育長):個人4名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人2名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):個人1名、1団体	被表彰者が活動する文化芸術分野の活性化に寄与した。		令和6年度推薦予定(文化振興課のみ) ・教育功労者表彰(教育長):個人4名、1団体 ・文化の日千葉県功労者表彰(知事):個人2名 ・地域文化功労者(文部科学大臣):個人1名			環境生活部 教育庁	スポーツ・文化局文化振興課 文化財課
4	千葉交響楽団による活動等		千葉県のプロ・オーケストラである千葉交響楽団に対し、運営費の一部を補助することにより、県民に親しまれるオーケストラとして定着させるとともに、本県の音楽文化の振興に資する。	・主催公演:6公演(定期演奏会3回、特別演奏会3回) ・依頼演奏会:15公演 ・アウトリーチ活動:21公演	子どもたちの文化芸術活動の充実や、高齢者・障害のある人等の文化芸術活動の充実に寄与した。	33,676	・主催公演:9公演(定期演奏会2回、特別演奏会6回)予定 ・依頼演奏会、アウトリーチ活動を予定 ※県は運営費を補助	42,962	特別演奏会の実施回数を3回増	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
5	文化活動ボランティアネットワーク		文化情報ポータルサイト「ちば文化交流ボックス」内に「文化活動ボランティアネットワーク」のページを設け、文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方の両者を結びつける手助けをする。	登録情報の更新と文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方のマッチングを行った。 ・文化活動ボランティア登録数:78件 ・文化活動ボランティア依頼件数:93件(うち成立数44件)	文化活動ボランティアをしたい方、お願いしたい方双方が文化活動に関わる機会を提供した。	-	引き続き、登録情報の更新と文化活動ボランティアをしたい方とお願いしたい方のマッチングを行う。	-		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
6	障害者芸術文化活動支援事業	再掲	障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動(美術及び舞台芸術)を支援する「障害者芸術文化活動支援センター(支援センター)」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間:4月1日~3月31日 ・実施事業:県民相談(34件)、障害当事者や支援者向けの人材育成研修(参加者数:146人、配信動画再生数:570回) ・展示会等:1月10日~1月21日(展示作品数:210点) 期間中会場を訪れた人数:4,177人	障害のある人々の作品発表の機会の確保や県全域でのワークショップの実施により、文化振興に寄与した。	7,503	【支援センター】 ・事業期間:4月1日~3月31日 ・実施予定事業:県民相談、障害当事者や支援者向けの人材育成、県立美術館での展示会の実施	7,553	公共施設やショッピングセンター、県内コンビニエンスストアイートインスペースでの巡回展の実施	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
7	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数:2,139,066人	県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	文化イベントや文化資源などに関する情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧数増加を目指す。	-		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
8	文化芸術のミライ応援補助金		若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	【若者の文化芸術活動育成支援事業補助金】申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日~2月29日 ・補助対象:40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:【申請数】9団体9事業/【交付数】7団体7事業	7団体7事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	1,154	【文化芸術のミライ応援補助金】申請内容を審査し、補助金を交付する。 ・補助対象事業の実施期間:6月1日~2月28日 ・補助対象:39歳以下の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費:2/3以内(上限20万円) ・補助金交付団体数:6者6事業	1,214	事業名称を「若者の文化芸術「文化芸術のミライ応援補助金」と変更し、団体のみであった補助対象者をか、個人にも拡大した。	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
9	文化振興事業の後援		県民の文化芸術活動を支援するため、文化芸術活動に関する公演や展示会等の行事に対して、県後援名義の使用承認を行う。	名義後援を132件行った。	県民の文化芸術活動の支援に寄与した。	-	引き続き、県民の文化芸術活動を支援し、活性化を図るため、後援名義の使用、承認を行う。	-		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

## ③文化施設等（文化会館、美術館・博物館等）の機能の充実

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額 (千円)	実施計画	当初予算額 (千円)	前年度からの変更点等		
1	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数（4館合計）：268,835名 ・利用事業数（4館合計）：2,748件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	568,075	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施	556,300		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：695,177人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,377,498	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。	2,234,333		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
3	県立学校施設開放事業		県立学校の文化施設や、学校開放を目的として建設された地域交流施設等の開放を行い、生涯学習関連団体等の活動支援を行う。	・実施場所7校（文化施設5校、交流施設2校）	全ての学校において、施設開放を実施することができた。ただし、匠瑛高等学校においては、活動団体はなかった。	1,905	・実施場所7校（文化施設5校、交流施設2校）	2,607	・匠瑛高校については、地域交流施設の小体育館のみ開放。	教育庁	生涯学習課
4	千葉県文化会館大規模改修事業		千葉県文化会館は昭和42年に供用を開始し、建物の老朽化が進んでいることから、大規模改修を通して、改修後40年間の使用を見込むための建物機能の回復や、既存不適格となっている特定天井の改修、バリアフリー対策（エレベーターの新設、自動ドア・スロープの整備、トイレの洋式化）、省エネ対策など各種対策を行い、安全性・機能性・効率性・サービスの向上を目指す。	令和5年度より改修工事を開始した。年度末における改修の進捗状況は以下のとおり 機械 予定65%実績61% ・電気 予定30%実績30% ・建築 予定36%実績36%	各工事項ね予定通りに工事が進んでいる。	479,794	大規模改修工事の継続 ①請負業者 建築：戸田・ナリコー特定建設工事共同企業体 電気：関電工・小峰特定建設工事共同企業体 機械：東熱・大和特定建設工事共同企業体 ②工事期間：令和5年4月15日～令和7年4月10日 ③工事内容 ・安全性の推進（吊り天井や防火区画の改修、消火設備の更新等） ・バリアフリーの推進（エレベーターやスロープ新設、車椅子席の増設等） ・維持管理コストの削減（照明器具LED化、高効率型空調機器へ改修等） ・利用者の快適な環境づくり（座席幅の拡張、トイレの洋式化等） ・環境負荷の低減（太陽光発電パネルや太陽光・風力駆動の外灯設置等）	6,440,187		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

「千葉県文化芸術推進基本計画」令和5年度実施結果・令和6年度実施計画（県実施分）

施策の柱2 ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり ～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

④ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業		東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」について、パンフレットや動画等の広報資料を作成し、千葉県誕生150周年記念事業等で配布・活用したほか、駅や商業施設等でも配布や動画放映を行った。 (パンフレット：2万部作成、動画：15秒・30秒・10分・3分×6エリアの合計9種類を作成) ②観光部局で実施する「あなたのLOVE CHIBA 教えてキャンペーン Season12」において、「ちば文化資産特別賞」を設定し、観光部局と連携したPRを実施した。 期間：12月1日～3月31日 ③特設WEBサイトの制作・公開、通年でHPやSNSからの情報発信等を実施し、「ちば文化資産」をPRした。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	10,491	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資料の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図る。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season13」を実施する。 ③SNSの投稿やHPにより周知を図る。また、SNS等での広告を実施する。	2,000	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
2	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業		小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容：洋楽、伝統芸能（能楽・雅楽・三曲） ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校27校 (洋楽：5校/伝統芸能（能楽8校・雅楽8校・三曲6校）：22校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,039	・内容：洋楽、伝統芸能（能楽・雅楽・三曲） ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校27校 (洋楽：5校/伝統芸能（能楽8校・雅楽8校・三曲6校）：22校)	4,076	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
3	「ちば」の文化芸術発信事業		伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信するための舞台公演を県民が参加できる形で実施する。	① 千葉県誕生150周年記念 松本幸四郎 歌舞伎舞踊公演「連獅子」 開催日：11月7日、会場：千葉県南総文化ホール、来場者：1,139名 ② 伝統芸能舞台公演 ・千葉県誕生150周年記念 野村万作・萬壽・裕基 青葉の森狂言の会～狂言三代～ 開催日：1月14日、会場：青葉の森公園芸術文化ホール、来場者：875名 ・千葉県誕生150周年 みんなで楽しむ邦楽コンサート（新曲・尺八編） 開催日：1月20日、会場：青葉の森公園芸術文化ホール、来場者：695名 ③ 千葉県誕生150周年 魅力発見！ちばの郷土芸能フェスティバル 開催日：2月17日、会場：東総文化会館、来場者：809名	県民の文化芸術活動の促進や、子どもから大人まで幅広い世代が伝統芸能、郷土芸能に触れ、親しむ機会の提供に寄与した。	19,991	① 伝統芸能公演 開催日：1月下旬～2月、会場：青葉の森公園芸術文化ホール ② 千葉の郷土芸能公演 開催日：10月～1月、会場：東総文化会館	10,000	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
4	伝統的工芸品産業振興事業		県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工芸品の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工芸品の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	・千葉県伝統的工芸品を2品新規指定（「つまみかんざし」、「木彫（仏像彫刻）」） ・千葉県伝統的工芸品一覧作成（1万部印刷し市町村や物産館等に配付） ・千葉県指定伝統的工芸品展を2月23日（金・祝）～25日（日）の3日間、イオンモール幕張新都心に開催	展示販売会や製作体験を開催し、千葉の文化芸術を間近で見て・触れてもらい、広く周知する機会となった。	4,071	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工芸品の振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	9,514	商工労働部	観光政策課	
5	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業 (平成26～30年度 園産花きイノベーション推進事業 令和元～4年度 次世代園産花き確立推進事業)		県産花植木を活用したディスプレイや日本庭園等の展示、植木伝統樹芸実演会の開催などにより、生産技術の向上と県産花植木の魅力の発信を図る。	・生け花ディスプレイ（R6.1.6～8）（そごう千葉店） ・生け花ディスプレイ（R6.1.26～28）（池袋サンシャインシティ）	県産の花きを使い、生け花を展示することで、日本の伝統文化に触れる機会を創出した。	996	・植木を用いた日本庭園の展示（R6年度後半）（場所：未定） ・生け花ディスプレイ（R7.1月）（場所：未定） ・生け花ディスプレイ（R7.2月）（池袋サンシャインシティ）	2,636	農林水産部	生産振興課	
6	ちばの食育活動促進事業		市町村、関係団体、ちば食育サポート企業、ちば食育ボランティア等との連携・協働による広報・啓発活動や体験活動による食育推進運動の展開を図る事業。ちば食育ボランティアには、郷土料理の伝承のための活動を行っている方も含まれている。	・食育の推進に向けた動画の普及やリーフレット類の配布、地域における活動交換会の開催、食育ボランティアに対する研修会等を行った。 ・食育啓発リーフレットの配付：6種類 ・地域食育活動交換会の開催（書面開催を含む）：10地域 ・ちば食育ボランティア研修会：1回	食育ボランティア等の活動の中には、郷土料理や地域の農林水産物について学ぶ機会となっているものもある。	14,000	・食育の推進に向けた動画の普及やリーフレット類の配布のほか、県内各地域における活動交換会の開催を支援する。	11,547	農林水産部	環境農業推進課	
7	水産物消費・食育対策事業		おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	①要望のあった県内の高等学校等の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣した。（派遣回数：11回） ②学校給食で県産水産物を提供した。 ③魚食普及パンフレットを配布した。	①アジやマイワシを食材として用いて、千葉県の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。 ②県内小・中学校の学校給食で県産水産物を提供し、魚食普及を促した食育を推進した。 ③水産物や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深めるため、魚食普及リーフレットを配布した。	826	①県内の小・中高等学校等の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣する。（派遣回数：10回） ②学校給食の県産水産物の提供 ③魚食普及リーフレットの配布	902	農林水産部	水産局水産課	
8	千葉県無形民俗文化財連絡協議会		国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「第65回関東ブロック民俗芸能大会」を開催し、関東ブロックの7団体（内、千葉県2団体）の民俗芸能団体が出演し、300名の来場者があった。 ・鴨川市の県指定無形民俗文化財「吉保八幡のやぶさめ」の記録映像作成を行った。 ・「千葉県の無形民俗文化財」19号の会誌を発行した。	特に「関東ブロック民俗芸能大会」を千葉県で開催されるのは11年ぶりであり、千葉県以外の方も含め、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	5,649	・「房総の郷土芸能2024」の開催 ・「関東ブロック民俗芸能大会」への県内民俗芸能団体の派遣 ・無形民俗文化財の記録映像作成 ・会誌「千葉県の無形民俗文化財」の発行	3,059	教育庁 教育振興部	文化財課	
9	出土文化財管理活用事業		発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済みのキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。（105件：小学校43件/中学校4件/特別支援学校4件/公民館等23件/博物館10件/キッズルーム等10件/イベント4件/研修等4件、貸出3件） 作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	前年度に続き、回復傾向にあるものの、利用者はリーパーが多く、新規の利用者拡大が課題である。	1,896	出張展示・出前授業・体験学習指導・体験学習貸出しを併せて100回実施。 学習キット：配付済みのメンテナンス、新規作成のための準備作業	1,961	教育庁	文化財課	

⑤伝統文化の保存・継承

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	「ちばの花植木産地」パワーアップ事業		植木伝統樹芸士・銘木100選の選定などを行う。	・「植木銘木100選」として3本審査したものの、認定には至らなかった。	植木銘木100選の審査等を通じて、伝統的な植木造形技術・知識（接ぎ木や割りなど）の保存・継承などに資することができた。	145	・「千葉県植木伝統樹芸士」の認定、「植木銘木100選」の認定。	400	農林水産部	生産振興課	
2	千葉県無形民俗文化財連絡協議会	再掲	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「第65回関東ブロック民俗芸能大会」を開催し、関東ブロックの7団体（内、千葉県2団体）の民俗芸能団体が出演し、300名の来場者があった。 ・鴨川市の県指定無形民俗文化財「吉保八幡のやぶさめ」の記録映像作成を行った。 ・「千葉県の無形民俗文化財」19号の会誌を発行した。	特に「関東ブロック民俗芸能大会」を千葉県で開催されるのは11年ぶりであり、千葉県以外の方も含め、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	5,649	・「房総の郷土芸能2024」の開催 ・「関東ブロック民俗芸能大会」への県内民俗芸能団体の派遣 ・無形民俗文化財の記録映像作成 ・会誌「千葉県の無形民俗文化財」の発行	3,059	教育庁 教育振興部	文化財課	
3	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容：洋楽、伝統芸能（能楽・雅楽・三曲） ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校27校 (洋楽：5校/伝統芸能（能楽8校・雅楽8校・三曲6校）：22校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4,039	・内容：洋楽、伝統芸能（能楽・雅楽・三曲） ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校27校 (洋楽：5校/伝統芸能（能楽8校・雅楽8校・三曲6校）：22校)	4,076	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
4	伝統的工芸品産業振興事業	再掲	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工芸品の振興計画実施のための費用を助成 (5)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工芸品の全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	・千葉県伝統的工芸品を2品新規指定（「つまみかんざし」、「木彫（仏像彫刻）」） ・千葉県伝統的工芸品一覧作成（1万部印刷し市町村や物産館等に配付） ・千葉県指定伝統的工芸品展を2月23日（金・祝）～25日（日）の3日間、イオンモール幕張新都心に開催	展示販売会や製作体験を開催し、千葉の文化芸術を間近で見て・触れてもらい、広く周知する機会となった。	4,071	県内の伝統工芸品を地場産業として育成するため、以下の取組を行う。 (1)独自の指定制度による千葉県伝統的工芸品の指定 (2)千葉県伝統的工芸品一覧の作成やホームページによる紹介 (3)後継者養成事業を実施する市町村に助成 (4)国指定伝統的工芸品房州うちわ及び千葉県工芸品の振興計画実施のための費用を助成 (5)全国・関東規模の伝統的工芸品展への参加 (6)伝統的工芸品の販売促進事業の実施	9,514	商工労働部	観光政策課	

## ⑥文化財・文化的景観等の保存と活用

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	出土文化財管理活用事業	再掲	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。(105件：小学校43件/中学校4件/特別支援学校4件/公民館等23件/博物館10件/キッズルーム等10件/イベント4件/研修等4件、貸出3件)作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	前年度に続き、回復傾向にあるものの、利用者はリピーターが多く、新規の利用者拡大が課題である。	1,896	出張展示・出前授業・体験学習指導・体験学習貸出しを併せて100回実施。学習キット：配付済キットのメンテナンス、新規作成のための準備作業	1,961	なし	教育庁	文化財課
2	文化財保護審議会		文化財指定・登録のための調査・審議、諮問に対する答申、既指定文化財の保存状況調査・保存管理に係る指導助言を行う。	・文化財保護審議会を年4回開催し、文化財調査結果の報告、審議を行った。 ・教育委員会が諮問し、審議会から5件の指定・8件の登録の答申を受けた。	文化財の指定・登録を着実に実施できた。管理に係る指導助言について、市町村・所有者と情報共有し、文化財の保護に資することができた。	1,081	文化財保護審議会の開催(4回) ・指定・登録候補の文化財について、その内容について審議する。 ・文化財の指定・登録について審議会に諮問し、答申を受ける。 ・県指定文化財の保存状況調査の内容について審議する。	1,560	-	教育庁 教育振興部	文化財課
3	指定候補文化財等調査事業		千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う。	・文化財保護審議会委員による指定候補文化財の調査、指定文化財の保存状況調査を20件実施した。 ・登録候補文化財の調査を課職員が適宜実施した。	指定・登録候補文化財調査、保存状況調査は、十分な調査を実施し、新指定・登録、文化財管理の向上につなげた。	1,081	千葉県にとって重要な文化財を永く保護するため指定候補となる文化財調査及び既指定文化財の保存状況の調査を行う。 ・保存と活用に資する目的で、登録候補となる文化財調査を行う。	1,560	-	教育庁 教育振興部	文化財課
4	文化財保存整備助成事業		国及び県指定文化財の所有者が行う保存修理等に係る助成事業。	・所有者及び市町村が実施する国及び県指定文化財の保存修理等事業について、補助を行った。 ・国指定文化財については、「法華経寺祖師堂(市原市)」等、計10件について補助した。 ・県指定文化財については、「猿田神社本殿(鯉子市)」等、計9件について補助した。	保存修理等事業について、適正に補助を行い、適切な文化財の管理が行われた。 文化財の整備により、多くの人々に文化財の魅力を知り、用具の修理等により、無形民俗文化財の保存と継承に資することができた。	55,000	所有者及び市町村が実施する国及び県指定文化財の保存修理等事業について、補助を実施する。	55,000	-	教育庁 教育振興部	文化財課
5	文化財管理助成事業		国指定文化財の防災設備点検等の所有者が行う維持管理事業に係る助成事業。	・所有者が行う国指定文化財の防災設備点検等の維持管理事業について、補助を実施した。 ・国指定重要文化財「風来寺観音堂(市原市)」等、計15件について補助した。 ・国天然記念物「成東東金食虫植物群落(山武市)」の管理事業について補助した。	防災設備点検等の維持管理事業について適正に補助を行い、適切な文化財の管理が行われた。	1,423	所有者が行う国指定文化財の防災設備点検等の維持管理事業について、補助を実施する。	1,745	-	教育庁 教育振興部	文化財課
6	史跡等購入助成事業		史跡を保存活用するために市町村が行う公有化の助成事業。	・史跡を保存活用するために市町村が行う公有化事業について補助を行った。 ・史跡「取掛西貝塚(船橋市)」を対象として実施した。	国指定史跡等公有化を着実に進めた。	3,800	史跡を保存活用するために市町村が行う公有化事業について補助を実施する。	2,574	-	教育庁 教育振興部	文化財課
7	重要遺跡確認調査		県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施する。併せて、県内で出土した遺物の保存処理を実施する。	県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施した。併せて、県内で出土した遺物の保存処理を実施した。 ・いすみ市新田野貝塚の確認調査 ・県内重要出土遺物の保存処理 ・県内重要遺跡詳細分布調査(古墳)	○新田野貝塚の確認調査を実施し、貝層分布範囲及びその周辺から縄文時代の遺物包含層を確認した。 ○古墳の詳細分布調査について、外部有識者で構成される委員会を開催し、重要遺跡の選定にかかる検討を行った。また、現地踏査を実施し、遺跡の保存状況の確認を行った。 ○千葉市高沢遺跡出土の刀子3点の保存処理を行った。	2,051	県内に所在する重要遺跡について、遺跡の状況を把握し、保存・活用の資料とするため調査を実施する。	2,000		教育庁	文化財課
8	埋蔵文化財緊急調査助成		土地区画整理事業・土地改良事業・個人住宅建設等に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	各種開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、22市町に対して調査費用の一部を助成した。	市原市ほか21市町に対して、発掘費用総額の10%~12.5%を助成した。	8,833	土地区画整理事業・土地改良事業・個人住宅建設等に伴う埋蔵文化財の発掘調査に対し、事業者の調査費用負担の軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	11,926		教育庁	文化財課
9	不特定遺跡発掘調査助成		当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難な場合、事業者の負担軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難と判断されたものについて、事業者の負担軽減を図るため、8市(11件)に対して調査費用の一部を助成した。	松戸市池ノ台遺跡第7地点ほか10件について、発掘調査及び整理作業・報告書の刊行にかかる費用の一部を助成した。	4,644	当該年度に計画された個人住宅建設等、事業者が個人若しくは中小企業等で調査費用の負担が困難な場合、事業者の負担軽減を図るため、調査費用の一部を助成する。	5,500		教育庁	文化財課
10	ふさの国文化財ナビゲーションシステム		国・県指定文化財と周辺の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。	埋蔵文化財包蔵地の新発見11件、範囲変更264件、軽微な変更18件のデータ更新を行い、公開した。	649	国・県指定等文化財と周辺の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	687		教育庁	文化財課
11	<R5新規事業> 国際境界模式地(GSSP)関係遺産保存活用等支援事業		市原市田沼所在の養老川河岸の地層は、令和元年に国際地質学連合から「国際境界模式地(GSSP)」に認定、この地層に代表される時代は「テパニアン」と命名され、この周辺地域は「養老川流域田沼の地磁気逆転地層」として国指定天然記念物に指定されている。国際的学会による承認を受けた世界水準の価値を有するこの文化財について、市原市が行う整備事業のうち、自然科学教育への効果が特に期待できる部分を対象に、国庫補助事業への上乗せ補助を行う。	市原市が令和5年度に計画している国庫補助事業に対し、上乗せ補助を実施した。	整備事業(補助対象事業)の工程進捗管理や市原市との協議をふまえて適正に補助・助言を行っている。	25,000	市原市が令和6年度に計画している国庫補助事業に対し、上乗せ補助を実施する。	19,000	-	教育庁 教育振興部	文化財課
12	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：695,177人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,377,498	各館の特色を生かして、博物館では千葉県自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。	2,234,333		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
13	景観セミナー		良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及を図るため、県民等を対象として、県内各地で景観セミナーや研修会等を開催する。	回数：1回(景観アドバイザーによる講演会を実施) 景観アドバイザーによる講演 開催概要 (1)日 時：令和5年10月17日(火)10時00分~11時40分 (2)場 所：木更津市役所朝日庁舎(WEB会議併用) (3)参加者：市職員43名 (4)講師：株式会社カラプランニングセンター 田邊 学 (5)講演内容：～色彩から考える公共施設と景観まちづくり～ 公共事業における色彩のあり方の説明 色彩の記号説明、好ましい範囲などの説明 色彩検討時の留意事項の説明	良好な景観の形成に関する普及啓発及び知識の普及に寄与した。	829	景観セミナー等 3回 開催地・詳細未定	6,373	なし	県土整備部	公園緑地課
14	千葉県建築文化賞		安全で快適な建築空間の創出や環境負荷低減などに優れた建築物の普及啓発のため、千葉県建築文化賞を開催し、優良建築物の表彰を行う。ホームページ、ポスター、パンフレット等により作品の募集を行い、その表彰結果を紹介するなど、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚を図る。	1. 作品募集 募集部門：一般建築物の部、住宅の部、募集期間：7月1日~9月30日 作品応募数：68作品 2. 審査結果 最優秀賞1点、優秀賞4点、入賞4点、計9点を表彰した。 3. 講演会 令和5年度で千葉県建築文化賞は第30回を迎えたため、第30回記念講演会を実施した。	県の機関や鉄道会社等に募集ポスターや受賞作品紹介パネルの展示を依頼するなど広報活動に力を入れ、記念講演会をすることで、より多くの人々が県内のすばらしい建築作品に触れ、文化活動に参加し発表する機会を提供した。	1,538	賞を年1回実施 (募集期間：7月1日~9月30日(予定)、表彰式：3月中旬)	1,451	令和5年度は千葉県建築文化賞の第30回を迎えるため、第30回記念講演会を実施したが、令和6年度は記念講演会を実施しない。	県土整備部	建築指導課

「千葉県文化芸術推進基本計画」令和5年度実施結果・令和6年度実施計画（県実施分）

【7】

施策の柱3 新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり ～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

⑦様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	千葉・県民文化祭	再掲	県域芸術文化団体等による絵画や俳句などの公募展や吹奏楽や日本舞踊などの公演を開催し、県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供する。また、他分野や新たな団体との共同企画による中央行事を開催する。	①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 県域で活動する文化芸術団体による絵画や詩、俳句、川柳、写真などの分野を中心とした公募展や合唱、吹奏楽、演劇などの公演等を共催。 事業数：全28件、期間：令和5年6月24日～令和6年1月13日、場所：県立美術館・青葉の森公園芸術文化ホールなど（全県）、関係者：文化芸術団体（全26団体）、来場者（合計）：52,591 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 一般公募により舞台出演者を選定し、新たな文化芸術の発表の場を設けた。さらに、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたコンサートを開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、Youtube等で配信した。 日程：8月12日、8月26日、10月1日、場所：青葉の森公園芸術文化ホール、関係者：（（公財））千葉県文化振興財団・出演者・出品者等（163名）、来場者：一般県民等（1,012名・入場無料）	県民に日頃の文化活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術等を鑑賞する機会を提供と通し、あらゆる人々が文化芸術に親しむことのできる環境づくりに寄与した。 また、他分野や新たな団体との共同企画による事業の実施により、文化芸術活動を行う人々のネットワークの構築を促進することができた。	6,500	①千葉・県民文化祭県域文化団体行事 事業数：27件、期間：7月～2月、会場：県立美術館など全県で実施 ②【千葉・県民文化祭中央行事】 日程：9月29日（日）、会場：青葉の森公園芸術文化ホール、出演者：一般公募により選定した出演者等 また、アウトリーチとして「ちば文化資産」を舞台としたミニライブ等を開催し、その様子を後日中央行事で紹介するとともに、YoutubeやSNS等で配信する。	10,620	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
2	障害者芸術文化活動支援事業	再掲	障害のある人や障害福祉サービス事業所等の芸術文化活動（美術及び舞台芸術）を支援する「障害者芸術文化活動支援センター（支援センター）」を設置し、障害のある人の自立と社会参加の促進を図る。	【支援センター】 ・事業期間：4月1日～3月31日 ・実施事業：県民相談（34件）、障害当事者や支援者向けの人材育成研修（参加者数：146人、配信動画再生数：570回） ・展覧会等：1月10日～1月21日（展示作品数：210点） 期間中会場を訪れた人数：4,177人	障害のある人々の作品発表の機会の確保や県全域でのワークショップの実施により、文化振興に寄与した。	7,503	【支援センター】 ・事業期間：4月1日～3月31日 ・実施予定事業：県民相談、障害当事者や支援者向けの人材育成、県立美術館での展覧会の実施	7,553	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
3	ネットワークの構築		文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 ・開催回数：3回 ・委員11名（学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等）	県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただいた。	421	【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただく。 ・開催回数：2～4回 ・委員11名（学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等）	807	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
4	千葉県芸術文化団体協議会		昭和45年に設立され、本県の文化芸術に係る県域・市町村団体を総括する唯一の団体。	【芸術文化フォーラム】日程：2月10日、場所：青葉の森公園芸術文化ホール 【文化芸術功労表彰】加盟団体からの推薦により5名を表彰 【芸文協らば】1回発行（3月）	・芸術文化フォーラム：県内文化団体の発表・相互理解の場となった。 ・文化芸術功労表彰：功労者表彰が行われ、文化の振興に寄与した。	-	・芸術フォーラムの開催 ・文化芸術功労表彰 ・芸文協らばを発行	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
5	子どもの読書活動の推進		「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことのできる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指す、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 概要：家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。 配付時期：令和5年10月 配付対象：乳幼児の保護者及び小学校1年生の保護者 配付部数：（乳幼児向け）43,000部（小学生向け）47,000部 計90,000部 ○令和5年度「千葉県子ども読書の集い」 概要：子どもの読書活動の意義や重要性について理解を深め、学校や家庭、地域における子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動に係る講演や実践発表を行った。 日程：令和5年5月13日（土） 場所：千葉県文化会館小ホール 主催：千葉県教育委員会 来場者：一般県民等（58名・入場無料） ○学校図書館・公立図書館連携研修会 概要：学校図書館の活性化や子どもの読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携に在り方について考える研修会を実施した。 日程：令和5年8月25日（金） 場所：千葉県立成田国際高等学校 対象者：学校図書館関係者、公立図書館関係者、行政職員等（対面開催：130名、動画視聴回数：176回）	○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 計画通り、家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。今後は、より有効活用されるよう配付方法等を工夫したい。 ○令和5年度「千葉県子ども読書の集い」 子どもが自主的に読書に親しむことのできる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指す、リーフレットの作成・配付する。また「子ども読書の集い」の開催場所を商業施設とし、より多くの方々へ啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	756	「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことのできる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指す、リーフレットの作成・配付する。また「子ども読書の集い」の開催場所を商業施設とし、より多くの方々へ啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	1,003	教育庁	生涯学習課	
6	千葉県無形民俗文化財連絡協議会	再掲	国・県指定の無形民俗文化財保持団体を会員とする団体で、「房総の郷土芸能」、特定ジャンルの民俗芸能上演会の公開事業や会報の発行等の事業を実施。	・「第65回関東ブロック民俗芸能大会」を開催し、関東ブロックの7団体（内、千葉県2団体）の民俗芸能団体が出演し、300名の来場者があった。 ・鴨川市の県指定無形民俗文化財「吉保八幡のやぶさめ」の記録映像作成を行った。 ・「千葉県の無形民俗文化財」19号の会誌を発行した。	特に「関東ブロック民俗芸能大会」を千葉県で開催されるのは11年ぶりであり、千葉県以外の方も含め、多くの人々の前で芸能を披露することで、保存・継承の機運が高まった。	5,649	・「房総の郷土芸能2024」の開催 ・「関東ブロック民俗芸能大会」への県内民俗芸能団体の派遣 ・無形民俗文化財の記録映像作成 ・会誌「千葉県の無形民俗文化財」の発行	3,059	教育庁	文化財課	

⑧観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	千葉県フィルムコミッション運営事業		映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等	・映像制作関係者への撮影支援やロケ地情報等の広報活動業務を千葉県フィルムコミッション（※）に委託して実施したところ、約90件の撮影が県内で行われた。 ・ホームページに文化施設の情報掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。	約90件の撮影が県内で行われ、旧堀田邸等の文化財でも撮影が行われた。	30,560	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等	28,900	特になし	商工労働部	観光政策課
2	観光イベントブック「ちばnote」作成事業		本県の旬の観光・レジャー情報を掲載し、県民等向けに観光情報を広くPRしている。	【「ちばnote」の発行】 ・回数：6回 ・内容：県内の観光施設・レジャー情報 ・主な対象：県民等 ・配布先：鉄道駅、道の駅、宿泊施設、地方銀行、県立博物館・美術館等	・県内各地で開催されていた150周年記念イベントや「ちば文化遺産」の記事に取り入れた。	9,940	-	0	千葉県観光物産協会に事業移管される	商工労働部	観光政策課
3	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受け入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。		デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生等を受け入れた。	日時：令和5年10月12日、人数：7名（奨学生6名、引率乗込1名） 内容：①太巻き祭り寿司の調理体験 ②「県立房総のむら」で和服体験などを実施。	①千葉県の伝統料理である「太巻き祭り寿司」の調理体験を通じて、本県の食文化を楽しみながら知っていただくことができた。 ②千葉県の伝統的な生活様式や、和装の直接体験を通じて、千葉県の文化や歴史について学んでいただくことができた。	119	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独日文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受け入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。	130	総合企画部	国際課	
4	「グリーン・ブルーツーリズムinちば」推進事業		農林水産業に対する都市住民の理解促進や都市と農山漁村の交流を促進し、県及び地域が一体となった農山漁村の活性化を図る。農林水産物直売所及び農林漁業体験施設等のPRや関係者向け研修会を開催しグリーン・ブルーツーリズムを促進する。	①「ちばまるしえキャンペーン」の開催 令和5年10月21日～令和6年1月31日の期間、県内農林水産物直売所や収穫体験施設等の175施設が参加した。プレゼント企画の応募総数は1,295通であった。（応募条件を昨年の3施設から2施設の利用に変更したことにより応募数増加） ②農泊報告会の開催及びインバウンド向けパンフレットの作成 都市住民と農山漁村の交流活動を一層推進することを目的に、農泊関係者とインバウンド向けの農泊プランを作成し、モニターツアーを開催した。また、モニターツアーの結果については、報告会を開催し、会場及びオンライン参加を含め、農泊関係者や自治体職員の計30名の出席があった。	農林水産業や農山漁村に対する都市住民の理解促進が図られた。	7,861	①ちばまるしえキャンペーンの開催 ・期間：9月～12月（予定） ・内容：施設のPRやプレゼントキャンペーン ②農泊関係者等を対象とした会議やPR資料の作成等を実情に合わせて実施。	7,597	農林水産部	農地・農村振興課	
5	「千葉の海」丸ごと満喫事業		都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。	R5発行休止	-	-	-	-	農林水産部	水産局水産課	



⑧観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
6	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業	再掲	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」について、パンフレットや動画等の広報資料を作成し、千葉県誕生150周年記念事業等で配布・活用したほか、駅や商業施設等でも配布や動画放映を行った。 (パンフレット：2万部作成、動画：15秒・30秒・10分・3分×6エリアの合計9種類を作成) ②観光部局で実施する「あなたのLOVE CHIBA 教えてキャンペーン Season12」において、「ちば文化資産特別賞」を設定し、観光部局と連携したPRを実施した。 期間：12月1日～3月31日 ③特設WEBサイトの制作・公開、通年でHPやSNSからの情報発信等を実施し、「ちば文化資産」をPRした。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	10,491	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資料の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図る。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season13」を実施する。 ③SNSの投稿やHPにより周知を図る。また、SNS等での広告を実施する。	2,000		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
7	ちばアクアラインマラソン開催事業	再掲	スポーツを通じ千葉が有する様々な魅力を発信するために東京湾アクアラインを活用した事業でランナーへのおもてなし等に文化芸術を活用する。	「ちばアクアラインマラソン2024」の開催に向けて、「基本計画」、「大会要項」及び「募集要項」を決定し、大会開催への準備を整えた。	完走メダルのデザイン募集を行うことで、文化芸術に触れる機会を図ることができた。	47,552	【ちばアクアラインマラソン2024】 日程：11月10日(日) 場所：木更津市・袖ヶ浦市 主催：実行委員会形式(千葉県、千葉県教育委員会)	129,900		環境生活部	スポーツ・文化局生涯スポーツ振興課
8	日本遺産魅力発信推進事業		日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・アフターコロナに向けた観光誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組みとして、香取市と佐倉市で「教員研修」を実施した。 ・駅などへのポスター掲示、HPやSNS等(Instagram・Facebook・協議会観光アプリ)での情報発信 ・関係団体との連携事業	アフターコロナに向けた観光誘客事業や関係団体との連携強化が進んでいる。	100	・アフターコロナに向けた観光誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組み ・駅などへのポスター掲示、HPやFacebook等での情報発信の強化 ・関係団体との連携事業	100	なし	教育庁	文化財課
9	ネットワークの構築	再掲	文化プログラムの実施を通じて新たに結ばれる団体と施設とのネットワークを、その後の事業展開に活かす。	【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 ・開催回数：3回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等)	県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただいた。	421	【千葉県文化芸術推進懇談会】の開催 県の文化振興施策や「千葉県文化芸術推進基本計画」の進捗等についてご意見をいただく。 ・開催回数：2～4回 ・委員11名(学識経験者、芸術家・芸術団体、文化施設、観光等)	807		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
10	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数：2,139,066人	県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	文化イベントや文化資源などに関する情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧数増加を目指す。	-		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
11	県立文化会館自主事業管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数(4館合計)：268,835名 ・利用事業数(4館合計)：2,748件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	568,075	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	566,300		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
12	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：695,177人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,377,498	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。	2,234,333		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
13	千葉県フィルムコミッション運営事業	再掲	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等	・映像制作関係者への撮影支援やロケ地情報等の広報活動業務を千葉県フィルムコミッション(※)に委託して実施したところ、約90件の撮影が県内で行われた。 ・ホームページに文化施設の情報を掲載し、ロケーション誘致の促進を図った。	約90件の撮影が県内で行われ、旧堀田邸等の文化財でも撮影が行われた。	30,560	映画等のロケーション誘致による地域知名度の向上や観光客の誘致、直接的な経済効果を目的に、以下の取組を行う。 (1)映像関係者に対する相談業務及び撮影支援 (2)市町村との連携強化及び市町村FCの設立の促進、ロケーション撮影の受入体制強化 (3)ロケ地を巡る旅であるフィルムツーリズムの促進、ロケ地と近隣の観光スポットを絡めた情報発信等	28,900	特になし	商工労働部	観光政策課

⑨文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の多面的な活用

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	県立学校開放講座		県立学校が保有する優れた教育機能を地域に開放し、多様化、高度化及び専門化する県民の学習要求に応え、生涯学習の振興に資するとともに開かれた学校づくりを促進する。	・開講数：12校13講座 ・内容：書道、農業体験、スポーツ等	昨年と比べて実施校数・講座数は増加した。また、予定をしていたが、中止となった学校もあった。	223	・開講数：12校16講座 ・内容：工作、コンピュータ、園芸等	437		教育庁	生涯学習課

「千葉県文化芸術推進基本計画」令和5年度実施結果・令和6年度実施計画（県実施分）

施策の柱4 次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり

⑩豊かな感性を育む文化芸術、郷土の歴史・伝統に出会う機会の充実

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	水産物消費・食育対策事業	再掲	おさかな普及員の派遣、食育実習の情報提供及び魚食普及パンフレットの作成・配布を行い、魚食普及を通じて「食育」を推進する。	①要望のあった県内の高等学校等の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣した。(派遣回数：11回) ②学校給食で県産水産物を提供した。 ③魚食普及パンフレットを配布した。	①アジやマイワシを食材として用いて、千葉県の郷土料理である「なめろう」や「さんが焼き」の伝承に努めた。 ②県内小・中学校の学校給食で県産水産物を提供し、魚食普及を通じた食育を推進した。 ③水産物や地域の特色ある魚に関する県民の理解を深めるため、魚食普及リーフレットを配布した。	826	①県内の小中高等学校等の料理教室に、講師としておさかな普及員を派遣する。(派遣回数：10回) ②学校給食の県産水産物の提供 ③魚食普及リーフレットの配布	902	農林水産部	水産局水産課	
2	子どもの読書活動の推進	再掲	「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付や「子ども読書の集い」の開催などの啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 概要：家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。 配付時期：令和5年10月 配付対象：乳幼児の保護者及び小学校1年生の保護者 配付部数：(乳幼児向け)43,000部 (小学生向け)47,000部 計90,000部 ○令和5年度「千葉県子ども読書の集い」 概要：子どもの読書活動の意義や重要性について理解を深め、学校や家庭、地域における子どもの読書活動を推進するため、子どもの読書活動に係る講演や実践発表を行った。 日程：令和5年5月13日(土) 場所：千葉県文化会館小ホール 主催：千葉県教育委員会 来場者：一般県民等(58名・入場無料) ○学校図書館・公立図書館連携研修会 概要：学校図書館の活性化や子どもの読書活動の充実・推進を図るために、公立図書館と学校図書館の効果的な連携に在り方について考える研修会を実施した。 日程：令和5年8月25日(金) 場所：千葉県立成田国際高等学校 対象者：学校図書館関係者、公立図書館関係者、行政職員等(対面開催：130名、動画視聴回数：176回)	○子どもの読書活動啓発リーフレットの配付 計画通り、家庭における子どもの読書活動の意義を啓発するため、発達段階に応じた保護者向けのリーフレットを作成し、配付した。今後は、より有効活用されるよう配付方法を工夫したい。 ○令和5年度「千葉県子ども読書の集い」 子どもの読書活動の意義や重要性について啓発するとともに、絵本の読み聞かせについて、新たな気づきや情報、視点を得られることができた。 ○学校図書館・公立図書館連携研修会 重点地域を対面開催としたことでより地域の実情に応じた研修会を実施することができた。また、その他の地域の対象者に向けて、内容の一部を動画配信したことで、県内の学校図書館・公立図書館関係者に視聴してもらうことができ、学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方を考えるきっかけづくりができた。	756	「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」に基づき、乳幼児期からの読書活動を推進し、子どもが自主的に読書に親しむことができる環境の整備を進めていく。主な取組として、読み聞かせや家庭読書のさらなる普及を目指し、リーフレットの作成・配付する。また「子ども読書の集い」の開催場所を商業施設とし、より多くの方々へ啓発活動を行う。また、公立図書館と学校との連携やネットワークの構築を図るために研修会を実施し、家庭・学校・地域での読書活動のより一層の充実・推進を図る。	1003	千葉県子ども読書の集いでは、子どもの参加人数が少ないことから、開催場所と内容を変更した。	教育庁	生涯学習課
3	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	再掲	国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。	埋蔵文化財包蔵地の新発見11件、範囲変更264件、軽微な変更18件のデータ更新を行い、公開した。	649	国・県指定等文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	687	教育庁	文化財課	
4	県警音楽隊派遣	再掲	要請により、小・中学校、その他各種イベント会場に音楽隊を派遣し、演奏を通じた警察広報を行う。	派遣回数：122日、式典、カラーガード隊のドリル演技など合計228回の演奏を行った。(令和5年1月～令和5年12月)	警察広報を通じ幅広い層の県民が文化芸術に親しむ機会を提供できた。	0	派遣予定日数：103日(令和6年1月～令和6年12月)	0	警察本部		
5	学校音楽鑑賞教室		次代の文化を担う児童・生徒を対象として、質の高い演奏に触れる機会を提供するため、千葉交響楽団による巡回公演を実施する。	・時期：通年 ・公演数：44公演 ・巡回先：県立高等学校1校、県内公立小・中学校43校	次代の文化を担う児童・生徒に質の高い演奏に触れる機会を提供した。	13164		12984	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
6	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容：洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校27校 (洋楽：5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校)：22校)	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4039	・内容：洋楽、伝統芸能(能楽・雅楽・三曲) ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校27校 (洋楽：5校/伝統芸能(能楽8校・雅楽8校・三曲6校)：22校)	4076	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
7	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：695,177人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1377498	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。	2234333	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
8	県有文化財管理活用事業		郷土の文化財に対する理解を深めるとともに、文化・観光資源としての文化財の公開活用を促進するため、市町村や関係機関等との連携により、千葉県指定有形文化財「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」の管理・公開事業を実施する。	令和5年11月19日に一般公開を実施した。	前年度より公開日数が少ないものの、多くの来場者が訪れた。	1498	令和6年9月以降で、一般公開日数を増やしての開催を検討している。	1500	教育庁	文化財課	
9	水道週間ポスター・標語コンクール		千葉県企業局では、県民の皆様の水道へのご理解をより深めていただくために、「水の大切さ」などを呼びかける「ポスター」及び「標語」作品を募集・審査するとともに、受賞者の表彰や入賞作品展の開催、作品集の作成などを行っている。	■コンクール作品の募集(テーマ：「水道」「水の大切さ」「水の有効利用」) 応募総数：ポスター部門372点、標語部門827点 入賞：部門ごとに最優秀・優秀賞各5点、ポスター佳作47点、標語佳作41点を選出 ■表彰式の実施 最優秀・優秀賞受賞者を対象とした表彰式を6月1日に開催(18名参加) ■入賞作品展の開催 会場：県庁本庁舎1階連絡通路・そごう千葉店・県立美術館第6展示室 期間：1週間程度(各会場) 来場者数：396名(県立美術館) ※他会場は計測していないため不明 ■作品集の作成 作品集を1,200部作成し、受賞者並びに県内の学校、絵画教室等に配付した。	学校や公民館等に作品募集のお知らせを送付し、また、県内施設にて入賞作品を展示することで、ポスターや標語の制作・鑑賞を通じて文化芸術に親しむ機会を提供した。	1021	■作品募集 対象：県内に在住、県内学校に通学している方 テーマ：「水道」「水の大切さ」「水の有効利用」 ■表彰式の実施 ■入賞作品展の開催(県内施設) ■作品集の作成	1155	特になし	企業局	管理部業務振興課

⑪若者の文化芸術活動の支援

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	文化芸術のミライ応援補助金	再掲	若者による創造的な文化芸術活動に対し補助し、地域の文化芸術活動の活性化及び文化芸術活動を行おうとする若者の受け皿となる団体の育成を図る。	「若者の文化芸術活動育成支援事業補助金」申請内容を審査し、補助金を交付した。 ・補助対象事業の実施期間：6月1日～2月29日 ・補助対象：40歳未満の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費：2/3以内（上限20万円） ・補助金交付団体数：【申請数】9団体9事業/【交付数】7団体7事業	7団体7事業が実施され、県民に様々な分野の文化芸術に触れる機会を提供し、また、文化芸術の発表の機会を設けることにより、文化振興に寄与した。	1154	「文化芸術のミライ応援補助金」申請内容を審査し、補助金を交付する。 ・補助対象事業の実施期間：6月1日～2月28日 ・補助対象：39歳以下の者が主体となって参加して実施する発表・公開事業、参加体験事業 ・補助対象経費：2/3以内（上限20万円） ・補助金交付団体数：6者6事業	1214	事業名称を「若者の文化芸術「文化芸術のミライ応援補助金」と変更し、団体のみであった補助対象者をか、個人にも拡大した。	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	高等学校文化連盟補助		国や県の教育施策等に基づき、高校生の文化活動の向上・発展及び普及振興を図るため、千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する。	以下の事業が補助金の対象である。 ①千葉県高等学校総合文化祭開催事業（参加27,458人） 演劇、合唱、吹奏楽、放送、写真、美術・工芸、将棋等 ②全国高等学校総合文化祭派遣事業（251人） ③全国大会・関東大会派遣事業（152人） ④講習会・研修会開催事業（1,450人） ⑤専門部会・理事会開催事業（500人）	千葉県高等学校総合文化祭の開催及び全国高等学校総合文化祭への派遣等の補助を実施し、生徒が文化芸術に触れる機会を創出した。	10955	千葉県高等学校文化連盟に補助金を交付する等、高校生の文化活動の支援を行う。	4669	全国高等学校総合文化祭への派遣が適正に行えるよう、補助金交付要綱を改正した。	教育庁	学習指導課
3	千葉県青少年オーケストラ育成事業		(公財)千葉県文化振興財団の行う青少年オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う青少年の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 ・6月に千葉県誕生150周年記念行事のオープニングイベント（森のホール21）での招待演奏を行った。 ・3月には、市川市文化会館で定期演奏会のリハーサルを実施し、東京芸術劇場で本番公演を行った。 ・定期演奏会の様子をテレビ及びラジオで放送した。	次代を担う青少年の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。	40934		40934		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
4	アーティスト・フォローアップ（モデル）事業		既存の枠にとらわれない、多様で優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストなど、将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、そのキャリア形成を支援する。	応募のあった63件の中から、計8件のアーティストを選定した。 募集期間：令和5年11月1日～令和6年1月31日	先見性や斬新な発想を持ち、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな若手アーティストのキャリア形成を支援する体制を整えることができた。	11998	第1期の支援を行うとともに、第2期の募集を行う。 ・対象者：千葉県に在住、在学、又は千葉県を活動拠点とする39歳未満のアーティスト ・対象分野：絵画・彫刻、デザイン、軽音楽、コンテンポラリーダンス ・選考人数：事業ごとに各分野1名ずつ 計8名 ・事業内容 ①アーティストのキャリア形成に係る活動等の支援（伴走型） 【支援内容】資金支援に加えて人的支援（専門家によるサポート等）を実施 ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等） ・活動場所、機材や作品の保管場所等の紹介 ・作品制作及びキャリア形成に関する助言 ②新たな創造に繋がる芸術活動の支援（テーマ設定型） 【テーマ】東京の隣接性を意識しつつ、千葉の豊かな自然環境（海、里山、川、水辺）を活かす芸術創造活動 【支援内容】資金支援を実施 ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等）			環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
5	「R6新規事業」軽音楽振興事業		全国高等学校軽音楽コンテスト決勝千葉県大会又は、千葉県高等学校軽音楽新人コンテストを県立文化会館で開催することにより、若い世代にも音の響きの良いホールを体験してもらうとともに、軽音楽の普及振興を図る。	-	-	-	①第11回全国高等学校軽音楽コンテスト千葉県大会 開催期間：7月6日～8月1日、会場（決勝）：八千代市民会館、出場者：千葉県の高等学校に所属かつすべてのメンバーが同一高等学校に所属する1～3学年の生徒により構成されるバンド。 ②第13回千葉県高等学校軽音楽コンテスト 開催期間：11月中旬～12月27日、会場（決勝）：青葉の森公園芸術文化ホール、出場者：千葉県の高等学校に所属かつすべてのメンバーが同一高等学校に所属する1、2学年により構成されるバンド。	1000		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑫伝統文化を担う子ども・若者の育成

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業	再掲	小・中学生を対象に、邦楽・洋楽のプロの演奏者を派遣して、鑑賞及び楽器体験を行う。	・内容：洋楽、伝統芸能（能楽・雅楽・三曲） ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校27校 （洋楽：5校/伝統芸能（能楽8校・雅楽8校・三曲6校）：22校）	県内の小・中学校の児童・生徒を対象に、伝統芸能・洋楽の演奏者等を派遣し、伝統芸能の一層の普及・振興、後継者の育成、及び小・中学生の演奏力のレベルアップ等に寄与した。	4039	・内容：洋楽、伝統芸能（能楽・雅楽・三曲） ・時期：通年 ・派遣先：県内小中学校27校 （洋楽：5校/伝統芸能（能楽8校・雅楽8校・三曲6校）：22校）	4076		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	千葉県青少年オーケストラ育成事業	再掲	(公財)千葉県文化振興財団の行う青少年オーケストラ育成事業に対し補助することにより、次代を担う青少年の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図る。	・指導者を招聘し、定期的に練習を行った。 ・6月に千葉県誕生150周年記念行事のオープニングイベント（森のホール21）での招待演奏を行った。 ・3月には、市川市文化会館で定期演奏会のリハーサルを実施し、東京芸術劇場で本番公演を行った。 ・定期演奏会の様子をテレビ及びラジオで放送した。	次代を担う青少年の音楽文化の向上とオーケストラ活動の普及を図った。	40934		40934		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

「千葉県文化芸術推進基本計画」令和5年度実施結果・令和6年度実施計画（県実施分）

施策の柱5 ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	千葉の海の魅力発信事業		千葉の海について、統一感のある魅力発信を行うため選定した、ブランドデザイン等を活用し周知を行う。また、千葉の海の魅力をより効果的及び統一感をもって発信していくため、「千葉の海・大使」を任命し、イベント等への参加やイラストの寄稿等を実施する。	千葉の海ブランドデザインについて、広報物資を制作したほか、イベント等でデザインの周知を行った。また、千葉の海・大使を任命し、イベントへの出演やコラム寄稿等を行った。	千葉の海ブランドデザイン及び千葉の海・大使を活用することにより、千葉の海の魅力を効果的かつ統一的に発信できた。	8,866	千葉の海の魅力発信イベントの開催：3回 ・千葉の海ブランドデザイン活用企業の支援	-	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	千葉の海と水辺の魅力発信事業（「誌面広告を活用した情報発信」、「メディアリレーション発信事業」）		在京メディア等を活用したPRを展開するとともに首都圏をターゲットとした誌面広告などにより、海や水辺の魅力について、発信をしていく。	・東京メトロで配布するフリーマガジンで、海辺・水辺の地域の魅力を紹介する記事広告を掲載するとともに、誌面でとり上げたモノやコトを体験するモニターツアーを開催 誌面掲載：3回（7月20日発行号、9月20日発行号、11月20日発行号） モニターツアー：2回（11/18、11/25）香取市佐原エリア ・メディアリレーション事業において、本県の露出機会を増加させるため、在京メディア等に向けてプレスリリース等で情報発信 プレスリリース等：14本 テレビ露出：41件	在京メディア等を活用したPR及び誌面広告などにより、県内各地域の認知度やブランド力の向上を図ることができた。	49,986	・東京メトロで配布するフリーマガジン等への記事の掲載及び誌面と連動したイベントの開催 ・メディアリレーション事業による情報発信	50,000		総合企画部	地域づくり課
3	6060房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業		スマートフォン等を使って「千葉ならではの魅力」に触れられる観光スポットや特集テーマを巡り、一定以上のポイントを集めて応募すると抽選でプレゼントが当たるデジタルポイントラリーを実施する。	【ポイントラリー実施概要】 ・実施期間：令和5年9月1日～令和6年2月29日 ・主な対象：県民及び県外からの観光客 ・広報物：キャンペーンポスター、チラシ、のぼり、三角POP、SNS広告 ・配布先：鉄道駅、道の駅、スポットとなっている観光施設 ・参加者数：12,460人 ・抽選応募者数：A賞 2,655人、B賞 4,977人、千葉県誕生150周年賞（うちわ） 1,004人、千葉県誕生150周年賞（切手）343人	県内各地で開催されていた150周年記念イベントや「ちば文化遺産」を対象スポットとして設定したことで、ポイントラリー参加者が文化芸術に触れる機会を創出した。	50,000	令和5年度に引き続き、スマートフォン等を使って観光スポット等を巡り、一定以上のポイントを集めて応募すると抽選でプレゼントが当たるデジタルポイントラリーを実施する。 また、千葉県を訪れる観光客の主要な目的となっている「地元グルメ」に着目して県産食材を使った飲食店をスポットに追加し、県内周遊と滞在期間の延長、地元グルメの認知度拡大を図る。	22,000	（1）観光スポットに加えてグルメ店舗を対象スポットに追加 （2）ポイントの取得方法をGPS方式に加えてQRコード方式も追加	商工労働部	観光政策課
4	新しい千葉の食文化創生事業		首都圏近郊にある豊かな自然（海と大地）をテーマに、県内各地域の特産品を取り入れた新しい千葉の食文化を目指した料理を消費者へ提供することで地産地消を推進し、農林水産業の振興を図る。	（1）黒アヒージョ体験会の開催 キャンプ場で「お好きな千葉県産の食材を選んで、オリジナルの『黒アヒージョ』の調理・試食を楽しんでいただく、料理体験イベントを開催。 参加者数：167名（41組） （2）料理コンテストの開催 下記（3）のフェア参加施設（県内飲食店・宿泊施設）を対象とした、「黒アヒージョ」を2部門に分け募集。 応募料理の中から部門ごとにグランプリ1作品、準グランプリ2作品、計6作品を決定 応募作品数：41作品 （3）黒アヒージョフェアの開催 「黒アヒージョ」を提供する県内の飲食店や宿泊施設で、黒アヒージョを注文された方へのアニメコラボシールや限定SNSアイコン画像のプレゼントや、アンケートに回答すると抽選で150名様に、「黒アヒージョの素」が入った黒アヒージョ体験セットをプレゼントするキャンペーンを実施。 参加店舗数：56店舗 参加者数（推計）：約20,000名 （4）アニメ「おでかけ子ザメ」とのコラボ企画 コラボCM及びコラボアニメの制作・放送、上記（3）のプレゼント企画を実施 コラボCM視聴（推計）：7万人（BS日テレ） コラボアニメ視聴（推計）：11.7万人（BS日テレ） YouTube再生回数：12.5万回（R6.3時点）、コメント：約300件、いいね：約7,000回 （5）各種情報発信 ・SNS発信 Instagramフォロワー数：9,810人（R6.3時点）、Twitterフォロワー数：1,430人（R6.3時点） ・SNS広告 閲覧アカウント総数：約39万 ・アニメタイアップ（アニメ公式等からの発信） インプレッション総数：約179.8万 ・ぐるっと千葉への掲載 発行部数：50万部 ・各種TV番組、ラジオ放送、紙面での取りあげ （6）その他 上記の他、ハッシュタグキャンペーンや企業・団体と連携し、量販店やイベントでの試食の配布などを実施した。 参加者数（推計）：約3,000名	黒アヒージョ全体のPRコンセプトは狙いとしたターゲット（若年女性層）に訴求され、認知に及んだ戦略となっており、そこにアニメとコラボしたPRを加えたことで、新たな層（男性層）への認知を広げ、実際に店に足を運ぶ流れを創出できた。	28,656	・料理コンテスト、フェアの実施、メディアと連携したPR ・黒アヒージョ体験会の実施 ※ 県内の道の駅やキャンプ場などで試食や調理を楽しんで頂くイベント ・関係企業・団体と連携した小売店・量販店等でのPR	30,000	関係企業・団体との連携強化	農林水産部	販売輸出戦略課
5	「千葉の海」丸ごと満喫事業		都市と漁村の交流促進、水産物の消費拡大による漁村の活性化を図るため、観光キャンペーンと連携した水産物直売所のPR等を展開する。	R5発行休止	-	-	-	-	-	農林水産部	水産局水産課
6	青少年水産教室漁業士派遣事業		青少年に本県水産業への理解と親しみを深めてもらうとともに、将来における漁業就業の一助とするため、小中学校又は高等学校等が開催する青少年水産教室の開催支援として、県内各地で漁業者のリーダーとして活躍している漁業士を講師として派遣する。	水産教室への漁業士派遣 延べ11名	本県水産業への理解を深めてもらうため、漁業士が講師となり、水産業に関する講話や漁業体験を実施した。	56	水産教室への漁業士派遣 延べ15名	75		農林水産部	水産局水産課
7	農山漁村振興交付金事業		農山漁村活性化法に基づき市町村が策定する定住・交流の促進、漁業者の所得向上や雇用の増大を図るための活性化計画の実現に向けて、漁業協同組合等が実施する地域活性化のための施設整備に対し支援する	新勝浦市漁協が勝浦市鶴原地区に整備するダイビング施設の本体工事に対して支援した。	地域活性化に資する施設整備に対し、適切な支援を行った。	5,493	-	-	-	農林水産部	水産局水産課
8	「ゆめみるチーバくん」ダンス関連事業	再掲	千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術（舞踏）に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の学校等を訪問して普及する。	ダンスキャラバン隊の活用について、年度当初に学校向けにリーフレットを配付し、39校（保育園・幼稚園・特別支援学校含む）にてダンスレクチャーを行った。また、県主催のイベントをはじめ、ショッピングモール等でもダンスステージを展開するなどし、「ゆめみるチーバくん」ダンスを普及活動を行った。	令和4年度に比べ、新型コロナウイルスが5類へと引き下げられたこともあり、イベントや学校に訪問する機会が増えた。チーバくんのダンスを通して、県民に広く芸術（舞踏）に親しむ機会を提供することができた。	22,100	千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」と共に「千葉アイデンティティ」の醸成と魅力発信を目指すため、また、県民に広く芸術（舞踏）に親しむ機会を創出するため、チーバくんキャラバン隊が「ゆめみるチーバくんダンス」をイベントや県内の小・中学校等を訪問して普及する。	24,791	特になし	総合企画部	報道広報課
9	ちば文化交流ボックス	再掲	県ホームページに「ちば文化交流ボックス」を設け、ちばの文化情報を紹介するとともに、県主催事業の他、県内各地で行われる文化イベントや県内の文化資源などの情報を提供する。	「文化交流ボックス」内に地域の文化イベント情報などを随時ホームページに掲載した。 累計閲覧者数：2,139,066人	県主催事業やちばの文化、新型コロナウイルス関連の情報を提供し、文化振興に寄与した。	-	文化イベントや文化資源などに関する情報を引き続き提供することで、ホームページの閲覧数増加を目指す。	-	-	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
10	県立文化会館自主事業、管理運営事業	再掲	県立文化会館4館それぞれが館の特徴を生かした事業を実施し、入場者数の増加を図る。また文化会館を適正に管理運営する。	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・会館利用者数（4館合計）：268,835名 ・利用事業数（4館合計）：2,748件 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施した。	県民の自主的な文化芸術活動の促進や、文化芸術に触れ親しむ機会の提供に寄与した。	568,075	・管理・運営方法：公益財団法人千葉県文化振興財団による指定管理 ・各館の特色を生かし、鑑賞事業、県民参加事業、新進芸術家等の育成事業など、様々な文化事業を実施	556,300		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
11	県民の日事業		県民が千葉の魅力を見直し、郷土愛を育み、千葉アイデンティティーを醸成する機会とするため、「県民の日」を記念する行事を県内各地で実施する。また、県民の日中央行事として、幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型のイベントを実施する。	①6月から1年にわたり県内各地で展開される千葉県誕生150周年記念行事のオープニングイベントとして、県民の日中央行事を実施した。 日時：6月11日（日） 会場：森のホール21（松戸市文化会館）、21世紀の森と広場 参加者数：約8,500人 ②地域行事：11件 ③千葉県誕生150周年記念事業パートナー登録企業数：348（令和6年3月末時点）	①ホール・野外の両方で実施し、本県の強みである豊かな自然や広い野外空間を生かしたプログラムとすることができた。また、千葉県誕生150周年記念事業のオープニングイベントとして実施したことにより、前年度を超える来場者数を集めることができた。 ②地域行事については、千葉県誕生150周年を契機として、複数地域の合同によるイベントが行われたほか、より地域の魅力を発信できるように新しい企画が考案された。	72,940	①千葉県誕生150周年記念行事フィナーレイベント「未来へつなごう！千葉の海」を実施予定。九十九里浜ビーチクリーン&手つなぎ～チャーバクんのせなかピカピカ大作戦～ 日時：6月15日午前、会場：九十九里浜・九十九里有料道路・勝浦漁船パレード 日時：6月15日午後、会場：勝浦湾・三日月シーパークホテル勝浦第2駐車場・グランドフィナーレ 日時：6月16日、会場：勝浦市芸術文化交流センター ②地域行事：11件 ※令和6年度は令和5年度に引き続き賛同行事は実施せず、ちば150周年記念事業パートナーとして、千葉県誕生150周年記念事業へ協力するパートナーを募集する	81,000	千葉県誕生150周年記念行事フィナーレイベントとして実施する	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
12	<R5新規事業>千葉県誕生150周年記念事業		令和5年6月に千葉県誕生150周年の節目を迎えることから、本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、市町村等に対する補助金等により、県全域で記念事業を展開する。	・県内全域で、県誕生150周年を記念した取り組みを統一的に推進し、広域での連携による記念事業や、県内大型商業施設等による新たな企業連携、本県の豊かな自然環境、東京との隣接性を生かした新たな芸術祭である「百年後芸術祭」等、さまざまな新しい取り組みが実施された。 ○百年後芸術祭 本県の豊かな自然環境や東京との隣接性を活かし、アートや映像、音楽などに、SDGsの視点やテクノロジーを取り入れた、本県ならではの新しい芸術祭。100年後の未来を見据え、持続可能な社会づくりのプラットフォームとなる芸術祭を目指す。国内外から参加したアーティストやクリエイターによる多様な芸術作品が展示されるほか、ライブアートパフォーマンスや食をテーマとした体験など、体験型プログラムを実施した。 開催地域：内房総地域（木更津市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）、市川市、佐倉市、山武市、栄町、白子町 ・県誕生150周年を県全体で盛り上げ、県民の郷土への愛着を一層高めるとともに、県内外から人を呼び込み、地域活性化につなげていくため、県内市町村が企画・実施する記念イベントに対し、補助金を交付した。 実施市町村：県内54市町村（全市町村） 件数：61件（額確定分）	県内各地で千葉県誕生150周年を記念した事業が実施されたことで、本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化に寄与することができた。	476,752	令和5年度に引き続き、県内市町村が企画・実施する記念イベントに対して補助金を交付する。	279,073		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
13	国民文化祭周知・派遣		毎年、各県持ち回りで開催される国民文化祭について、県内に周知するとともに、県内団体の派遣に伴う事務を行う。	石川県で開催。 「いしかわ百万石文化祭2023、第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭」（令和5年10月14日～11月26日）				今年度は、岐阜県で開催。 「清流の国ぎふ文化祭2024、第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭」（令和6年10月14日～11月24日）		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
14	県立美術館・博物館事業	再掲	5館8施設の県立美術館・博物館において展示及び教育普及事業を実施する。	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施した。 来館者数：695,177人	千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験や、千葉県ゆかりの作家・作品の展示などにより、「あらゆる人が文化に触れ親しむ機会の提供、関心・理解の促進」、「ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供」に寄与した。	1,377,498	各館の特色を生かして、博物館では千葉県の自然・文化・歴史を紹介する展示・体験を、美術館では千葉県ゆかりの作家・作品の展示公開を行うなど、年間を通じて様々な事業を実施する。	2,234,333	環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課	
15	ふさの国文化財ナビゲーションシステム	再掲	国・県指定文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	・埋蔵文化財包蔵地の新発見・範囲変更等に伴うデータ更新を年3回行った。 ・管理システムの保守・管理を行った。	埋蔵文化財包蔵地の新発見11件、範囲変更264件、軽微な変更18件のデータ更新を行い、公開した。	649	国・県指定等文化財と周知の埋蔵文化財包蔵地の地理情報及び関連情報をインターネット上で、広く県民に提供しているシステムの整備を行う。	687	教育庁	文化財課	
16	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業	再掲	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」について、パンフレットや動画等の広報資料を作成し、千葉県誕生150周年記念事業等で配布・活用したほか、駅や商業施設等でも配布や動画放映を行った。（パンフレット：2万部作成、動画：15秒・30秒・10分・3分×6エリアの合計9種類を作成） ②観光部局で実施する「あなたのLOVE CHIBA 教えてキャンペーン Season12」において、「ちば文化資産特別賞」を設定し、観光部局と連携したPRを実施した。 期間：12月1日～3月31日 ③特設WEBサイトの制作・公開、通年でHPやSNSからの情報発信等を実施し、「ちば文化資産」をPRした。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	10,491	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資料の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図る。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season13」を実施する。 ③SNSの投稿やHPにより周知を図る。また、SNS等での広告を実施する。	2,000		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

⑬「ちば」文化のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
17	日本遺産魅力発信推進事業	再掲	日本遺産に認定されたストーリーを地域全体として一体的に整備・活用し、国内外へ効果的に発信する文化庁の補助事業。平成28年度、本県で認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」について、情報発信や人材育成などの事業を行う。	・アフターコロナに向けた観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組みとして、香取市と佐倉市で「教員研修」を実施した。 ・駅などへのポスター掲示、HPやSNS等（instagram・Facebook・協議会観光アプリ）での情報発信 ・関係団体との連携事業	アフターコロナに向けた観光客誘致事業や関係団体との連携強化が進んでいる。	100	・アフターコロナに向けた観光客誘致事業の推進 ・教育旅行誘致に向けた取組み ・駅などへのポスター掲示、HPやFacebook等での情報発信の強化 ・関係団体との連携事業	100	なし	教育庁	文化財課
18	出土文化財管理活用事業	再掲	発掘調査で出土した実物資料等を用い、出張展示・出前授業・体験学習指導等を実施するとともに出土品を利用した学習キットを作成し、特別支援学校への配付と配付済のキットをメンテナンスする事業。	出土文化財を活用した出前授業・体験学習等を実施した。（105件：小学校43件/中学校4件/特別支援学校4件/公民館等23件/博物館10件/キッズルーム等10件/イベント4件/研修等4件、貸出3件）作成した学習キットを必要な特別支援学校に配付し、配付済みの小学校向け学習キットのメンテナンスをおこなった。	前年度に続き、回復傾向にあるものの、利用者はリピーターが多く、新規の利用者拡大が課題である。	1,896	出張展示・出前授業・体験学習指導・体験学習貸出しを併せて100回実施。 学習キット：配付済キットのメンテナンス、新規作成のための準備作業	1,961	なし	教育庁	文化財課
19	さわやかちば県民プラザ事業	再掲	音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	県民の自主的な文化活動の促進及び文化活動の機会の提供に向けて5事業を実施した。 ①音楽ワークショップ・概要：「柏の葉吹奏楽団」を結成し、吹奏楽の体験講座を実施した。発表の場として晩秋のコンサート、新春のコンサートを実施した。参加者：4,700人 ②東葛飾文化祭・概要：東葛飾地域の文化の発展に寄与する人材の育成を図るとともに、文化団体相互の親睦、交流を図り、芸術文化活動の促進の場として実施した。参加者：7,712人 ③ザ・ワールドオブプラス：・概要：東関東地区（千葉県、茨城県、神奈川県、栃木県）の中学校、高校の吹奏楽部全23校がフロアマーチングの発表を実施した。参加者：6,000人 ④高校生バンドフェスティバル・概要：県内の高校生バンド16組が演奏を披露するコンサートを実施した。参加者496人 ⑤書のパフォーマンス発表会・概要：県内の高校11校の書道部が書道の実演発表を実施した。参加者：243人	参加者自らが創り上げる文化活動を支援するとともに、文化活動が多く県民に触れる場となるよう広報も工夫した。	290	音楽ワークショップ、ザ・ワールドオブプラス、高校生バンドフェスティバルなどを実施する。	326	書のパフォーマンス大会については、R6は開催しない。	教育庁	生涯学習課
20	＜R6新規事業＞「ちば文化」創造・継承事業		・県内市町村の企画・実施する千葉ならではの豊かな自然環境等を取り入れた芸術祭等の新たな文化活動に対し、補助金を交付する。 ・民間企業・団体が「ちば文化資産」を活用し、新たな要素を取り入れた本県の文化的魅力のPRにつながる事業に対し、補助金を交付する。	-	-	-	①未来に向けた「ちば文化」活性化補助金 【事業主体】市町村 【補助率等】事業費の2分の1 【補助要件】 ・千葉ならではの豊かな自然環境や都市機能を取り入れた事業 ・新たに、SDGsにつながる取組等を取り入れることで、未来を見据えた持続可能な社会基盤づくりに資する活動として認められるもの ・補助期間は最大3年とすること（申請は単年度ごとに交付決定する） 【積算】1市町村あたり100万円 × 15市町村 = 15,000千円 ②ちば文化資産活用事業補助金 【事業主体】民間 【補助率等】事業費の2分の1 【補助要件】 ・新たに、SDGsにつながる取組等を取り入れることで、未来を見据えた持続可能な社会基盤づくりに資する活動として認められるもの ・補助期間は最大3年とすること（申請は単年度ごとに交付決定する） 【積算】100万円/事業 × 5件 = 5,000千円	20,000		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課

【柱5】⑭最新のテクノロジーや国内外との交流を取り入れた新たな「ちば文化」の創造

事業番号	事業名	再掲	事業概要	令和5年度実施結果			令和6年度実施計画			担当部	担当課
				実施結果	実施結果に対する評価	決算額(千円)	実施計画	当初予算額(千円)	前年度からの変更点等		
1	文化プログラム関連イベント事業「ちば文化資産」PR事業	再掲	東京2020大会文化プログラムの一つとして、4年間かけて、県内の文化芸術活動を牽引するようなシンボリックな事業を実施する。 ○「ちば文化資産」PR事業 平成30年度に選定した「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」のPRを行い、ちばの文化的魅力を発信する。	①「ちば文化資産」について、パンフレットや動画等の広報資料を作成し、千葉県誕生150周年記念事業等で配布・活用したほか、駅や商業施設等でも配布や動画放映を行った。（パンフレット：2万部作成、動画：15秒・30秒・10分・3分×6エリアの合計9種類を作成） ②観光部局で実施する「あなたのLOVE CHIBA 教えてキャンペーン Season12」において、「ちば文化資産特別賞」を設定し、観光部局と連携したPRを実施した。 期間：12月1日～3月31日 ③特設WEBサイトの制作・公開、通年でHPやSNSからの情報発信等を実施し、「ちば文化資産」をPRした。	「ちば文化資産」に関連したキャンペーン等の実施やSNSの活用等により、千葉の文化的魅力を多くの方に周知できた。	10,491	①クリアファイル、パンフレット、ポスター等令和5年度に作成した各種PR資料の増刷し、観光・文化施設やイベント等で活用し、周知を図る。 ②観光部局と連携したフォトキャンペーン「あなたのLOVE CHIBA教えてキャンペーン Season13」を実施する。 ③SNSの投稿やHPにより周知を図る。また、SNS等での広告を実施する。	2,000		環境生活部	スポーツ・文化局文化振興課
2	デュッセルドルフ市奨学生財団の受入れ	再掲	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独自文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独自文化交流育英会から派遣された奨学生等を受け入れた。 日時：令和5年10月12日 人数：7名（奨学生6名、引率兼通訳1名） 内容：①太巻き祭り寿司の調理体験 ②「県立房総のむら」で和服体験などを実施。	①千葉県の伝統料理である「太巻き祭り寿司」の調理体験を通じて、本県の食文化を楽しみながら知っていただくことができた。 ②千葉県の伝統的な生活様式や、和菓の直接体験を通じて、千葉県の文化や歴史について学んでいただくことができた。	119	デュッセルドルフ日本奨学財団及び独自文化交流育英会から派遣された奨学生の訪問を受入れ、太巻き祭り寿司作りの体験などを通じて、「ちば文化」を経験してもらう。	130		総合企画部	国際課